



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社ウィルグループ

上場取引所 東

コード番号 6089 URL <http://willgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田良介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 中野佳一

TEL 03-6859-8880

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,507	—	511	—	473	—	224	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 224百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	111.38	107.88
25年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成25年10月10日を効力発生日として、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純資産を算定しております。

2. 当社は、平成25年12月19日付けで東京証券取引所市場第二部に上場しているため、平成26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成26年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,779	—	2,367	—	—	39.7
25年3月期	4,531	—	1,269	—	—	26.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,293百万円 25年3月期 1,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3,280.00	3,280.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,954	21.6	896	45.1	875	38.6	524	80.8	264.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月10日を効力発生日として、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	2,313,200 株	25年3月期	1,980,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	2,017,022 株	25年3月期3Q	1,980,000 株

(注) 当社は、平成25年10月10日を効力発生日として、普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済対策や金融政策の効果に対する期待感から景気は緩やかに回復しつつあります。人材サービス市場においては、失業率の改善や、新規求人数の増加に伴う有効求人倍率の上昇等、雇用情勢は改善しております。

このような状況下、当社グループは、各事業において専門性を追求するとともに顧客満足を伴う差別化を図った他、展開地域の拡大等により業容の拡大に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高19,507,630千円、営業利益511,071千円、経常利益473,100千円、四半期純利益224,663千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①セールスアウトソーシング事業

スマートフォン市場は、新機種の発売等により引き続き拡大しており、家電量販店や携帯ショップの販売員の需要が強く見られました。この状況下、東北地方を中心とした拠点開設や増床により営業展開地域を拡大した他、大型案件の受注に尽力いたしました。

この結果、セールスアウトソーシング事業の売上高は8,040,847千円、セグメント利益293,588千円となりました。

②コールセンターアウトソーシング事業

スマートフォン市場を中心とした通信業界の拡大や、金融業界における新たなサービス展開等を背景として、動作説明やサービス内容の説明を行うコールセンターにおけるオペレータの増員需要が強く見られました。この状況下、引き続き通信業界を対象とした拡販に加え、金融業界等を対象とした営業活動に注力しました。また、新たに名古屋への拠点開設を行うことで営業展開地域を拡大いたしました。

この結果、コールセンターアウトソーシング事業の売上高は5,132,854千円、セグメント利益220,222千円となりました。

③ファクトリーアウトソーシング事業

国内の製造業においては、国内生産量の増加に伴い需要が堅調に推移しました。この状況下、引き続き食品業界を中心とした派遣及び製造請負の拡大に努め、新規受注、派遣の請負化及び請負現場の収益改善活動に尽力いたしました。

この結果、ファクトリーアウトソーシング事業の売上高は4,599,643千円、セグメント利益89,485千円となりました。

④その他

オフィス等への人材派遣においては拠点開設等による業容の拡大を図りました。また、ALT（外国語指導助手）派遣においては、受注獲得には至りませんでした。文部科学省から「英語教育改革実施計画」が公表されるなど多くの自治体で語学教育への関心は高まっております。マースキャンプ（※）や看護師紹介等も堅調に推移いたしました。これら将来の成長が期待できる分野において市場の基盤構築や人員増強等リソースの先行投下を積極的に行っております。

この結果、その他の売上高は1,734,285千円、セグメント損失△108,953千円となりました。

（※）スポーツ業界への就業を希望する方向けのセミナー

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,368,323千円となり、前連結会計年度末に比べ1,202,328千円増加いたしました。これは主に売掛金が715,221千円、現金及び預金が430,765千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は410,984千円となり、前連結会計年度末に比べ45,259千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が39,820千円、有形固定資産が17,867千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は5,779,308千円となり、前連結会計年度末に比べ1,247,588千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,375,319千円となり、前連結会計年度末に比べ168,261千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金120,000千円、未払法人税等が104,184千円それぞれ減少した一方、未払金が256,793千円、短期借入金が100,000千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は36,132千円となり、前連結会計年度末に比べ18,663千円減少いたしました。これは主に長期借入金15,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,411,452千円となり、前連結会計年度末に比べ149,598千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,367,856千円となり、前連結会計年度末に比べ1,097,990千円増加いたしました。これは主に株式上場に伴う新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ442,281千円増加し、また四半期純利益を224,663千円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.7%（前連結会計年度末26.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年12月19日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社アイエックは、当社の連結子会社である株式会社ボーダーリンクを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、株式会社アイエックは特定子会社には該当いたしません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,813,456	2,244,221
売掛金	2,109,062	2,824,284
その他	259,509	318,960
貸倒引当金	△16,033	△19,142
流動資産合計	4,165,995	5,368,323
固定資産		
有形固定資産	112,134	130,002
無形固定資産		
のれん	22,127	14,842
その他	31,434	78,539
無形固定資産合計	53,561	93,382
投資その他の資産		
その他	200,056	187,671
貸倒引当金	△27	△71
投資その他の資産合計	200,029	187,600
固定資産合計	365,725	410,984
資産合計	4,531,720	5,779,308
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,363	69,287
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	140,000	20,000
未払金	1,733,608	1,990,402
未払費用	385,820	476,700
預り金	195,997	202,559
未払法人税等	189,022	84,837
賞与引当金	166,356	94,810
紹介収入返金引当金	4,064	4,885
事務所移転損失引当金	1,413	—
その他	286,411	331,837
流動負債合計	3,207,058	3,375,319
固定負債		
長期借入金	40,000	25,000
その他	14,796	11,132
固定負債合計	54,796	36,132
負債合計	3,261,854	3,411,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,000	567,281
資本剰余金	317,017	759,298
利益剰余金	770,057	962,248
株主資本合計	1,212,074	2,288,828
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,522	4,695
その他の包括利益累計額合計	2,522	4,695
新株予約権	51,070	72,100
少数株主持分	4,197	2,232
純資産合計	1,269,865	2,367,856
負債純資産合計	4,531,720	5,779,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	19,507,630
売上原価	15,860,228
売上総利益	3,647,402
販売費及び一般管理費	3,136,331
営業利益	511,071
営業外収益	
受取利息	193
助成金収入	14,968
その他	1,050
営業外収益合計	16,213
営業外費用	
支払利息	4,881
為替差損	1,709
財務支払手数料	1,000
株式交付費	9,458
株式公開費用	35,186
その他	1,947
営業外費用合計	54,184
経常利益	473,100
特別損失	
固定資産売却損	272
固定資産除却損	77
事務所移転損失	1,511
その他	420
特別損失合計	2,281
税金等調整前四半期純利益	470,819
法人税、住民税及び事業税	204,343
法人税等調整額	44,104
法人税等合計	248,448
少数株主損益調整前四半期純利益	222,371
少数株主損失(△)	△2,292
四半期純利益	224,663

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,371
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	2,499
その他の包括利益合計	2,499
四半期包括利益	224,870
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	226,835
少数株主に係る四半期包括利益	△1,965

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月18日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行333,200株（発行価格2,870円、引受価格2,654.75円、資本組入額1,327,375円）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ442,281千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が567,281千円、資本剰余金が759,298千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セールスアウトソ ーシング事業	コールセンターア ウトソーシング事 業	ファクトリーアウ トソーシング事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,040,847	5,132,854	4,599,643	17,773,345	1,734,285	19,507,630	—	19,507,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,040,847	5,132,854	4,599,643	17,773,345	1,734,285	19,507,630	—	19,507,630
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	293,588	220,222	89,485	603,297	△108,953	494,343	16,727	511,071

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス等への人材紹介・派遣、ALT（外国語指導助手）派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額16,727千円はセグメント間取引消去562,122千円、報告セグメントに配分していない全社費用△545,394千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。